

## 公立高校の出題傾向

### 【千葉】

- 英語** リスニングは必出。全体の約2割の配点。比較的短い文章を正確に読みとる練習が必要。
- 数学** 大問5題。関数と図形に関する問題、証明・作図が必出。時間配分注意。
- 国語** 大問7題。全体として記述力を問う出題。放送聞き取り問題、古文・漢文は連続で出題。
- 理科** 大問8~9題。化学・生物・物理・地学から均等に出題。設問の大部分は実験観察に重点をおいたもので、教科書に載っているものは、要チェック。
- 社会** 小問32題。地図・資料からの読みとりが大半。30字前後の記述も。地理は千葉県の産業に関連づけた出題に注意。

### 【茨城】

- 英語** 大問6題。① リスニング ⑥ 英作文で全体の4割を占める。
- 数学** 大問8題。出題傾向が一定。二次関数・動点・三角形の合同と証明・確率・立体図形。  
① ② の小問で全体の4割の配点。
- 国語** 小説文・説明文・古文・依頼文・資料と対話文。ほぼすべての文章パターンから出題。記述は、内容・心情把握を問う設問が多い。十分な練習が不可欠。
- 理科** 大問6題。① ② 小問集 ③ ~ ⑥ は4分野から1題ずつ。
- 社会** 大問4題。地理・歴史・公民・総合の構成。地図・グラフ・統計などの資料を参考に考えさせる問題が増えてきている。

### 【埼玉】

- 英語** 出題内容は例年同様。リスニング・対話文・条件英作文（5文以上）は毎年出題される。全体的に記述の問題が目立つ。
- 数学** 大問4題の構成は変わらず。作図・証明などの考え方のプロセスを問う設問は定番。
- 国語** 大問5題。小説文・漢字語句文法・論説文・古文・課題作文の構成は変わらず。課題作文は配点が高いので十分な対策が必要。
- 理科** 大問5題。各分野からの小問集が① 以降は、4分野から1題ずつの出題。実験・観察にからめた記述式の問題が多い。
- 社会** 大問6題。地理・歴史・公民からバランスよく出題。図・グラフ・統計などの資料をからめた設問や記述式の設問が多い。

### 【神奈川】

- 英語** 大問7題。リスニングは毎年出題。標準的な出題だが、重要な点はメモしながら聞く習慣をつけておく。
- 数学** 大問7題。ほぼ毎年同様の分野から出題されているが、規則と二次方程式をからめた問題は特徴的。
- 国語** 大問4題。漢字・語句・小説文・論説文・古文。設問は選択式が中心だが、論説文では記述問題も出題される。
- 理科** 大問8題。全分野から満遍なく出題され、実験・観察を中心とした観察力・思考力を問う設問となっている。
- 社会** 今年も大問6題。3分野からバランスのとれた出題がされているが、地図・グラフ・統計などの資料を参考にした問題。地形図の読み取りは毎年出題されている。

### 【東京】

- 英語** 大問4題。リスニング・対話文2題・長文総合の構成。② では英作文（3文）が出題される。
- 数学** 図形問題の出題が中心だが、今春は② で自然数の性質を利用した証明が出題。立体・作図・証明は連続して出題。
- 国語** 大問5題。漢字・小説文・論説文・評論文の構成。論説文では、200字の論述が出題されるので対策を十分に講じる必要がある。
- 理科** 大問6題。ほとんどが選択式。1・2分野の総合小問集と4分野から1題ずつの出題。
- 社会** 大問6題。地理・歴史・公民からの基本問題が多い。出題形式は選択式の設問が多いが、資料読み取りなどの記述も出題される。